

予防接種の追加・変更

(ア) 風しんに関する追加的対策

現 状

対 象 者：①妊娠を希望、または予定している女性
 ②妊娠を希望、または予定している女性を同居している方
 ③妊婦と同居している方

費 用：抗体検査 無料

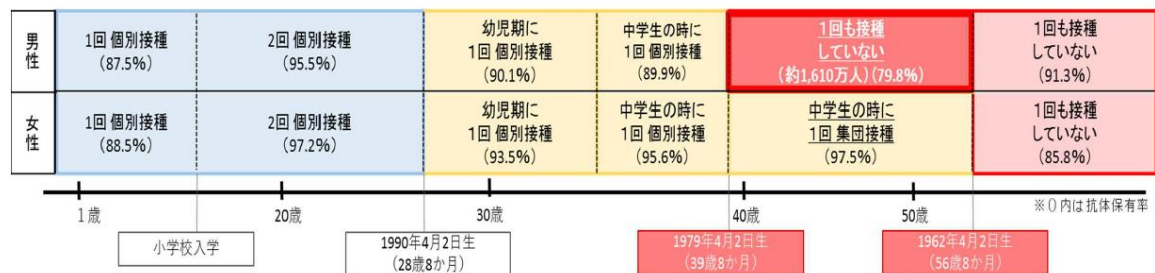
予防接種 ・MR ワクチン（麻しん風しん混合ワクチン） － 5,000 円
 ・風しんワクチン － 3,000 円

追加対策

実施期間：平成 31（2019）年から 2021 年度末までの約 3 年間かけて集中的に取り組む

対 象 者：現在 39～56 歳の男性（特に抗体保有率が低い群）

【1962 年（昭和 37 年）4 月 2 日から 1979 年（昭和 54 年）4 月 1 日】



実施目標：①2020 年 7 月までに、対象者の世代の抗体保有率を 85%以上
 （国全体の抗体保有率は約 93%になる）

②2021 年度末までに、対象者の世代の抗体保有率を 90%
 （国全体の抗体保有率は約 94%になる）

実施パターン

基本形：居住する市町村内の医療機関において、抗体検査及び予防接種を実施

【例】



(イ) 高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種の期間延長

事業経緯

◆平成 21 年度～26 年 8 月 31 日

任意肺炎球菌ワクチン予防接種に対する助成開始

- ・申込みによる接種券の発行
- ・助成を受けたことのない人対象
- ・自己負担 5,000 円（生活保護、中国残留邦人は無料券あり）

◆平成 26 年 10 月 1 日～

定期予防接種（B 類疾病）としての高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種の開始

- ・平成 26 年度～30 年度は 65、70、75、80、85、90、95、100 歳が対象。
(4 月 2 日～4 月 1 日生まれ)
- ・平成 26 年度のみ 101 歳以上も対象
- ・初めての接種に限る（助成の有無は問わない）
- ・自己負担 5,000 円（生活保護、中国残留邦人は無料接種券あり）
- ・平成 31 年度以降は満 65 歳が対象

延長措置

平成 31 年度以降も 5 年間に渡り経過措置を延長する（平成 31 年 1 月 11 日の通達）

延長理由：接種率が低いこと。

国全体では、任意で接種した者と自治体の補助を活用して接種した者の数は正確には把握できていないが、接種率は 40%程度である。受診率については、B 類疾病のため集団免疫ではないことから具体的な目標はないが、今後も接種率向上の仕組みが必要であり、接種率の向上のため周知啓発に取り組む必要があるとされている。

定期予防接種延べ実施件数)

<開始年度：平成26年度> ※65歳以上の対象者数は接種券発送者数。

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
65歳以上	対象者数	10,814	10,667	11,366	11,961	
	接種者数	4,381	3,788	4,409	4,652	
	接種率 (%)	40.5	35.5	38.8	38.9	

◆平成 31（2019）年度～2023 年度

定期予防接種（B 類疾病）としての高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種の開始

- ・65、70、75、80、85、90、95、100 歳が対象。（4 月 2 日～4 月 1 日生まれ）
- ・初めての接種に限る（助成の有無は問わない）
- ・自己負担 5,000 円（生活保護、中国残留邦人は無料接種券あり）